

全員参加型中学校校内研修モデル

～「粘り強さ」と「振り返り」で教科の枠を超える！～

吉野川市立鴨島東中学校

主体的・対話的に学び合う学習の中で粘り強く持続的に取り組む態度を養う

粘り強さ

振り返り

自ら学びたくなるような授業の実践！

小学校
(協力校)

中学校
(拠点校)

鳴門教育大学
県教育委員会

学力向上 実行プラン

- 学校の課題や今年度の方向性についての議論
- 「粘り強さ」と「振り返り」の具体的な生徒の姿の共有

情報交換会

- 「粘り強さ」と「振り返り」に視点を置いた授業実践について共有
- 改めて大切なポイント、目指す方向性についての修正・確認

小中合同 研修

- 小学校の実践研究を参観
- グループ協議では校区内の小学校2校の管理職、学力向上担当も参加

全国 学力調査

- 全国学力調査等の課題の共有
- 「粘り強さ」と「振り返り」による実践の成果の共有

研究授業 授業研究会

- 「粘り強さ」と「振り返り」による授業実践
- 授業研究会は拡大指導案と付箋を用いて、視点を決め固有名詞での話し合い

授業力向上週間

- 「粘り強さ」と「振り返り」に視点を置いた授業を公開、参観（4週間）
- 参観者の「振り返りシート」を冊子にまとめて共有

指導案検討会

- 各学年部会で「粘り強さ」「振り返り」「ワークシート」「授業展開」「体裁」について検討し、学校全体で一つの実践を創造



ユニットごとにまとめた授業実践



ホワイトボードを活用した協議



発表者とファシリテーター

☆全員参加型中学校校内研修 成功のポイントは「共通テーマの設定！」

全員で取り組めるテーマ（粘り強さ・振り返りetc）を設定することがこの研修のよさ！！

【学校長の声】

校内研修は教職員個々の資質・能力の向上だけではなく、学校全体の組織力を向上させるために必要不可欠なものです。中学校は教科担任制であるため、道徳や特別活動等の研修が多くなりがちですが、本校は全ての教科に有効な目標（＝粘り強く考える子どもの育成）を設定し、その実現のために校区の小学校とともに参加型の研修を推進しました。

【鳴門教育大学教員の声】

固有名詞を使い、どの生徒がどんなことをしていたか具体的なシーンを共有して話し合うことで耳障りのよい綺麗な言葉でまとめられるのとは違う実感のある研修になっていました。

【県教育委員会指導主事の声】

様々な手法を用いた参加型研修により、「まず教員が授業を工夫する」という意識が醸成され、生徒の粘り強さを育成する授業が展開できています。